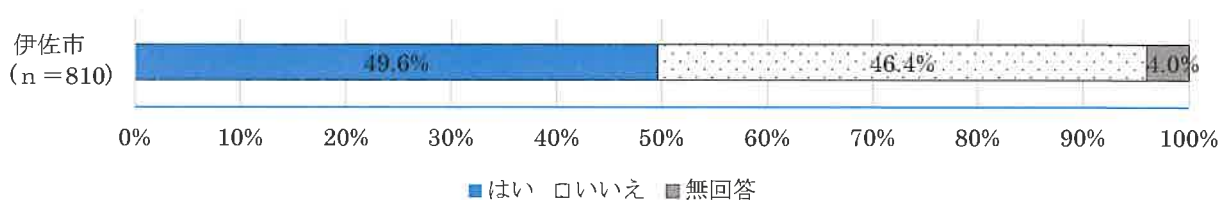


⑦ 性的マイノリティについて

問 23 あなたは、性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っていますか。

性的マイノリティ又はLGBTという言葉の認知度について、「はい」が49.6%、「いいえ」が46.4%となっている。

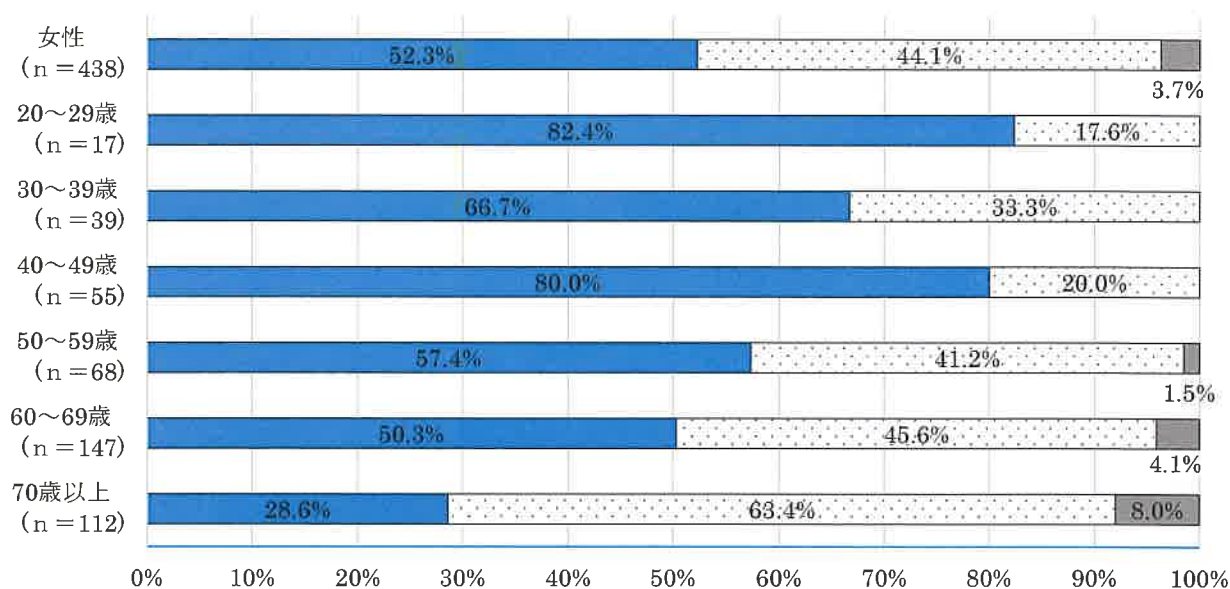
性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っているか 【総計】



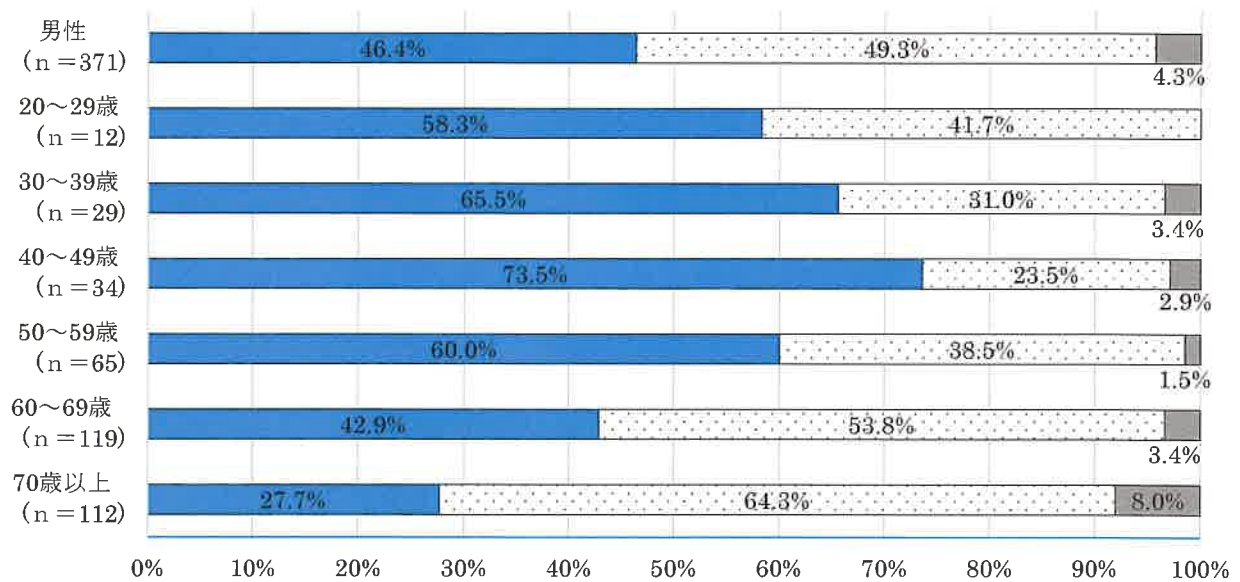
性別で見ると、「はい」と答えた割合は、女性が52.3%、男性が46.4%となっており、女性の方が5.9ポイント高くなっている。

性別、年代別で見ると、男女とも70歳以上では「はい」と答えた割合は、3割未満となっているが、60歳代の男性を除くその他の全ての年代の男女では、5割以上となっている。

性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っているか 【女性、年代別】



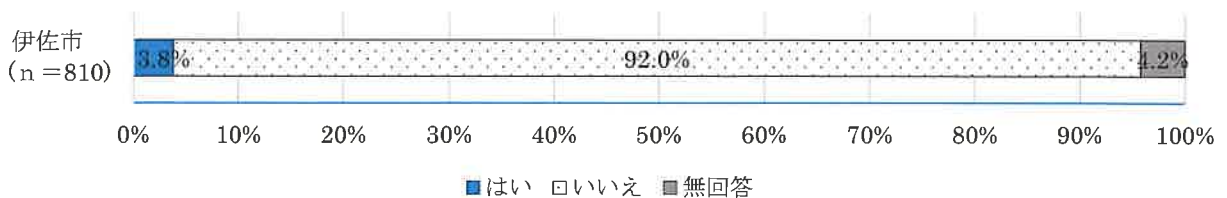
性的マイノリティ又はLGBTという言葉を知っているか 【男性、年代別】



問 24 あなたは、今までに自分の身体の性、心の性又は性的指向などに悩んだことがありますか。

身体の性、心の性などに悩んだことがあるかについて、「はい」が3.8%、「いいえ」が92.0%となっている。

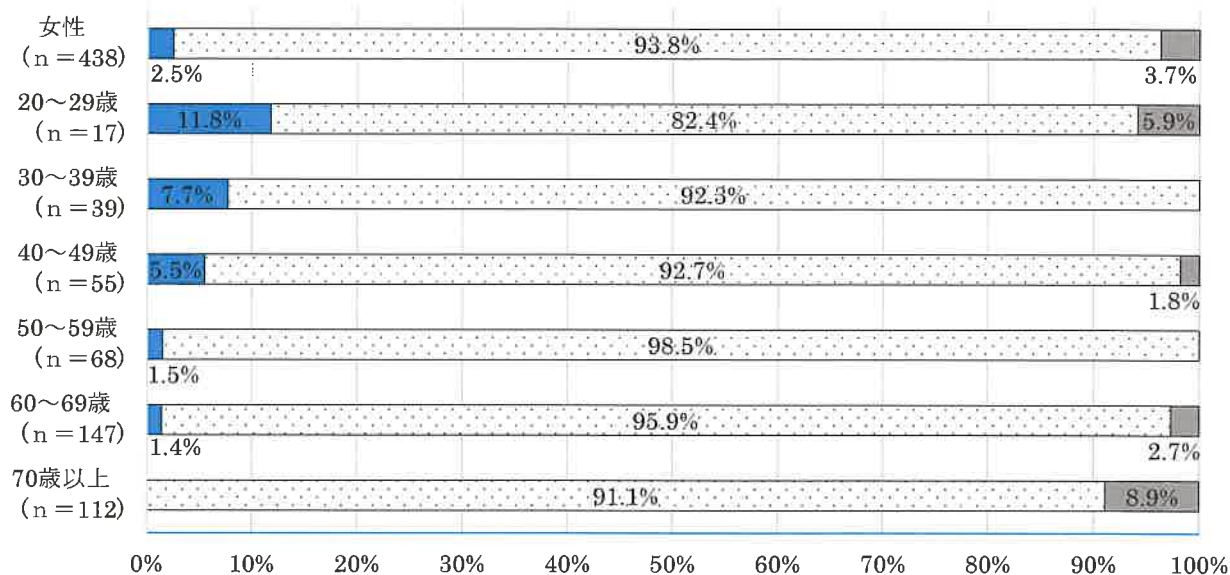
自分の身体の性、心の性、性的指向に悩んだことがあるか 【総計】



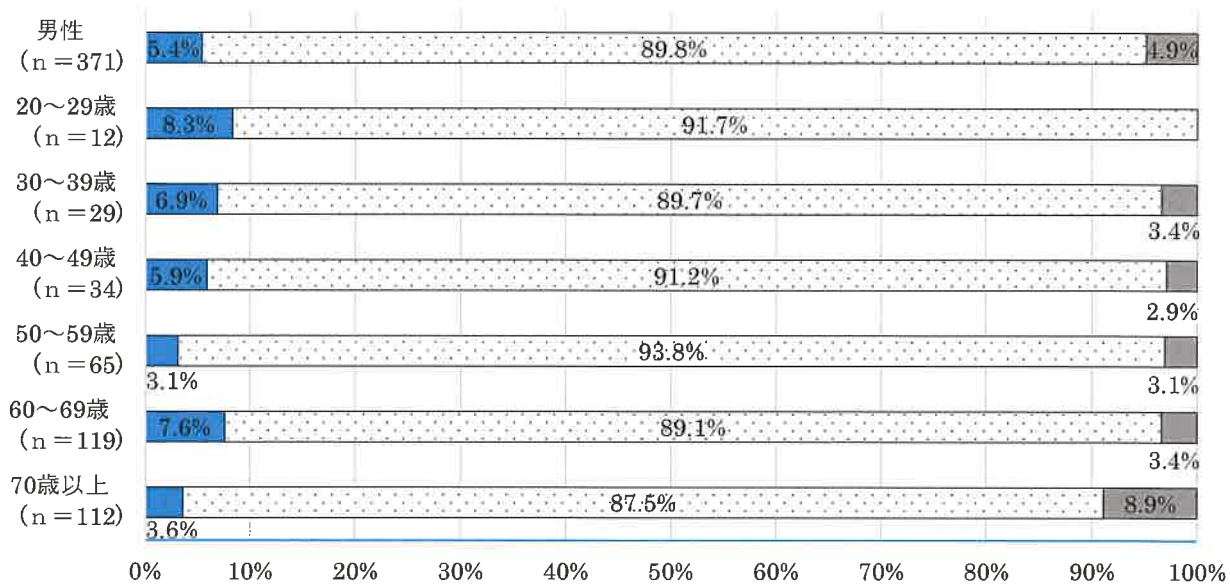
性別で見ると、「はい」と答えた割合は、女性が2.5%、男性が5.4%となっており、男性の方が2.9ポイント高くなっている。

性別、年代別で見ると、「はい」と答えた割合は、20歳代の女性が他の年代の女性より高くなっているが、70歳以上の女性では「はい」と答えた人はいなかった。また、男性では20歳代及び60歳代で「はい」と答えた割合が高くなっており、全ての年代で「はい」と答えた人がいた。

自分の身体の性、心の性、性的指向に悩んだことがあるか 【女性、年代別】



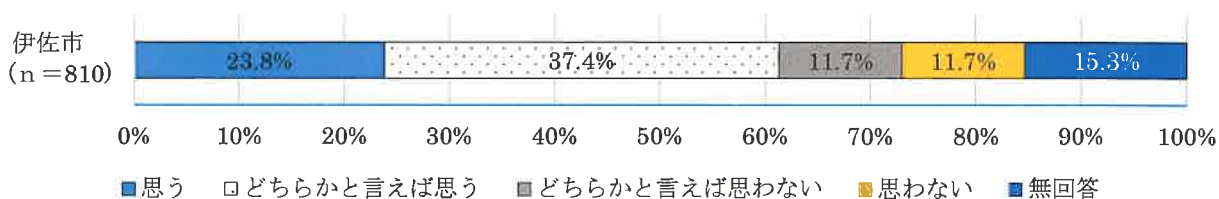
自分の身体の性、心の性、性的指向に悩んだことがあるか 【男性、年代別】



問 25 性的マイノリティ又はLGBTの方にとって、生活しづらい社会だと思いませんか。(1つだけ選択)

性的マイノリティ又はLGBTの方にとって生活しづらい社会だと思うかについて、「どちらかと言えば思う」(37.4%)と答えた割合が最も高く、次いで「思う」(23.8%)、「どちらかと言えば思わない」(11.7%)、「思わない」(11.7%)の順となっている。

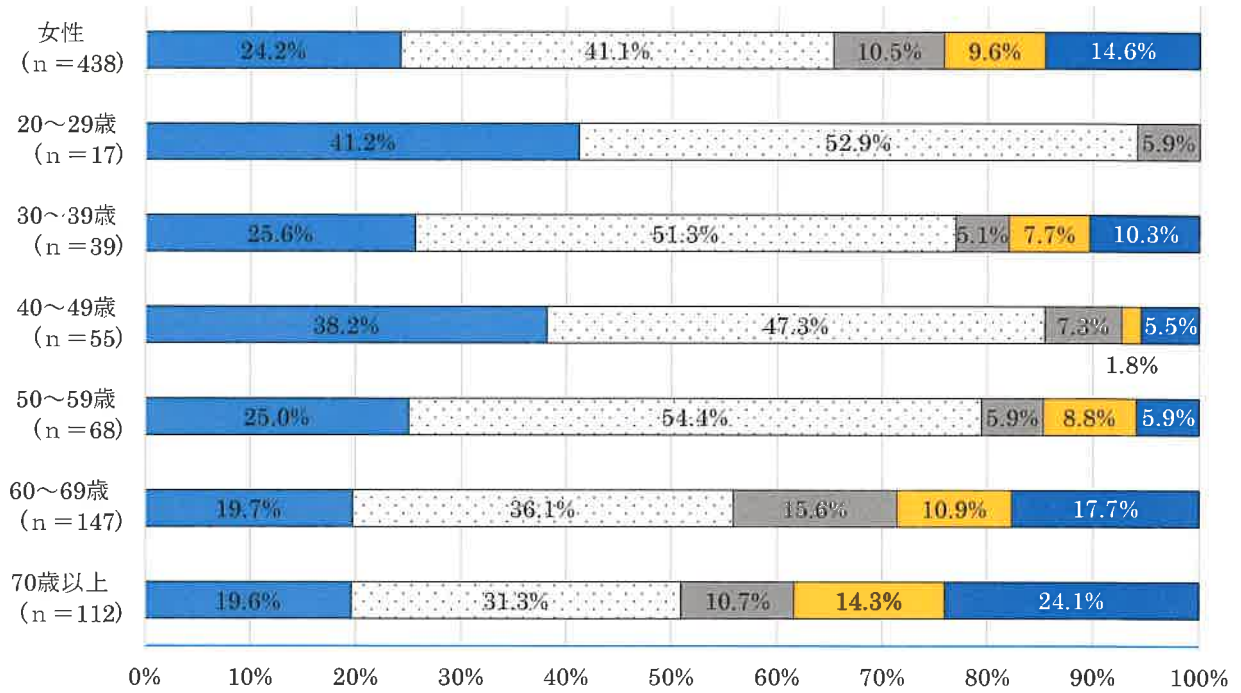
性的マイノリティ又はLGBTの方にとって生活しづらい社会だと思うか【総計】



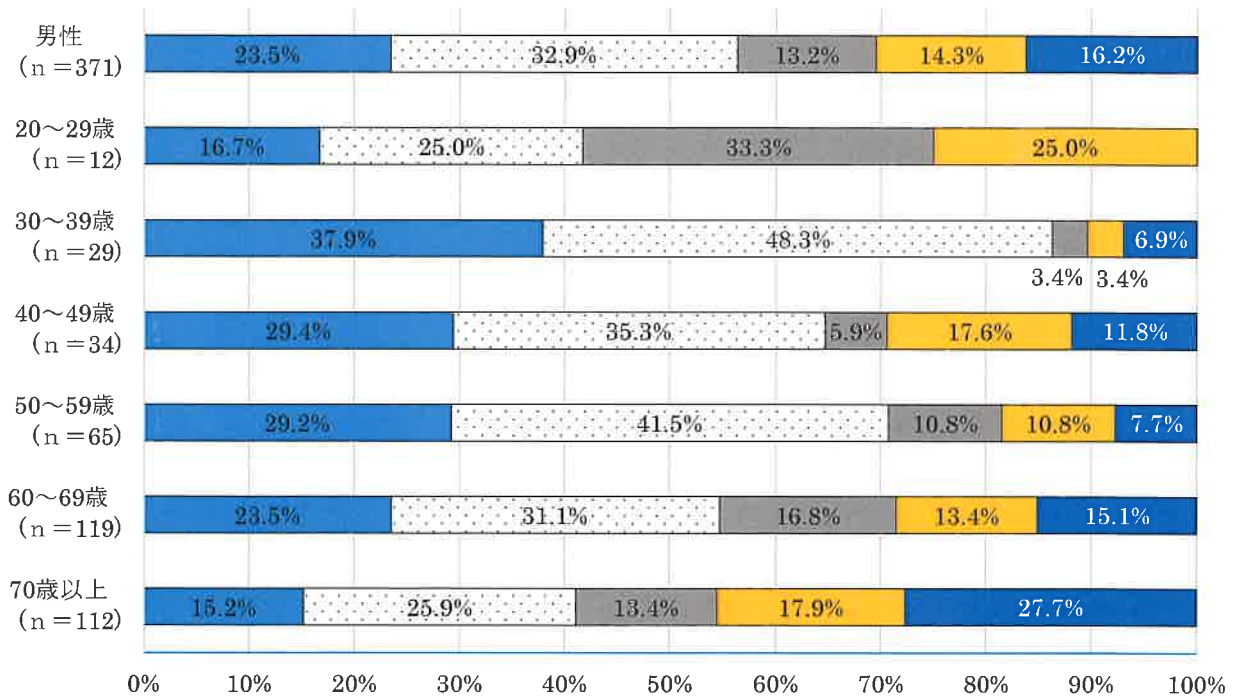
性別で見ると、『思う』(「どちらかと言えば思う」+「思う」)と答えた割合は、男女とも5割以上となっており、女性の方が8.9ポイント高くなっている。

性別、年代別で見ると、『思う』と答えた割合は、女性では20歳代94.1%(41.2%+52.9%)が最も高くなっており、30歳代から50歳代では7割以上、60歳以上の年代でも5割以上となっている。また、男性では30歳代86.2%(37.9%+48.3%)が最も高くなっており、40歳代から60歳代では5割以上となっている。

性的マイノリティ又はLGBTの方にとって生活しづらい社会だと思うか
【女性、年代別】



性的マイノリティ又はLGBTの方にとって生活しづらい社会だと思うか
【男性、年代別】

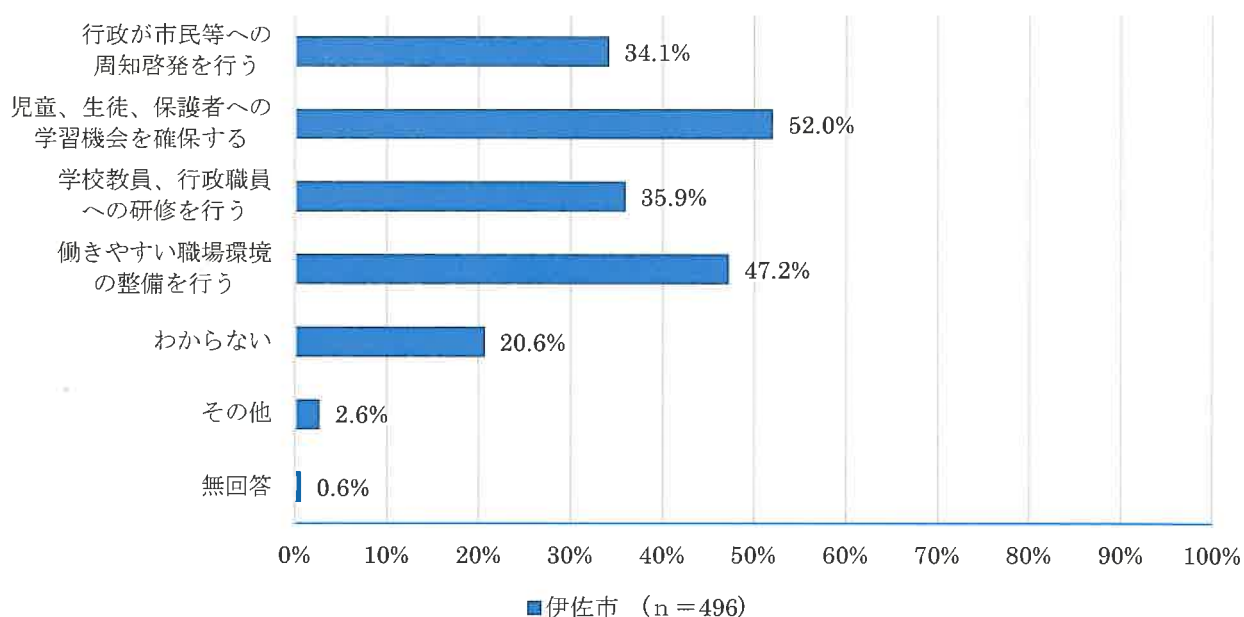


【問 25 で「思う」又は「どちらかと言えば思う」と答えた方にお尋ねします。】

問 26 性的マイノリティ又はLGBTの方が、生活しやすくなるためにどのような取組が必要だと思いますか。(いくつでも選択)

性的マイノリティ又はLGBTの方が、生活しやすくなるために必要な取組について、「児童、生徒、保護者への学習機会を確保する」(52.0%)と答えた割合が最も高く、次いで「働きやすい職場環境の整備を行う」(47.2%)、「学校教員、行政職員への研修を行う」(35.9%)、「行政が市民等への周知啓発を行う」(34.1%)の順となっている。

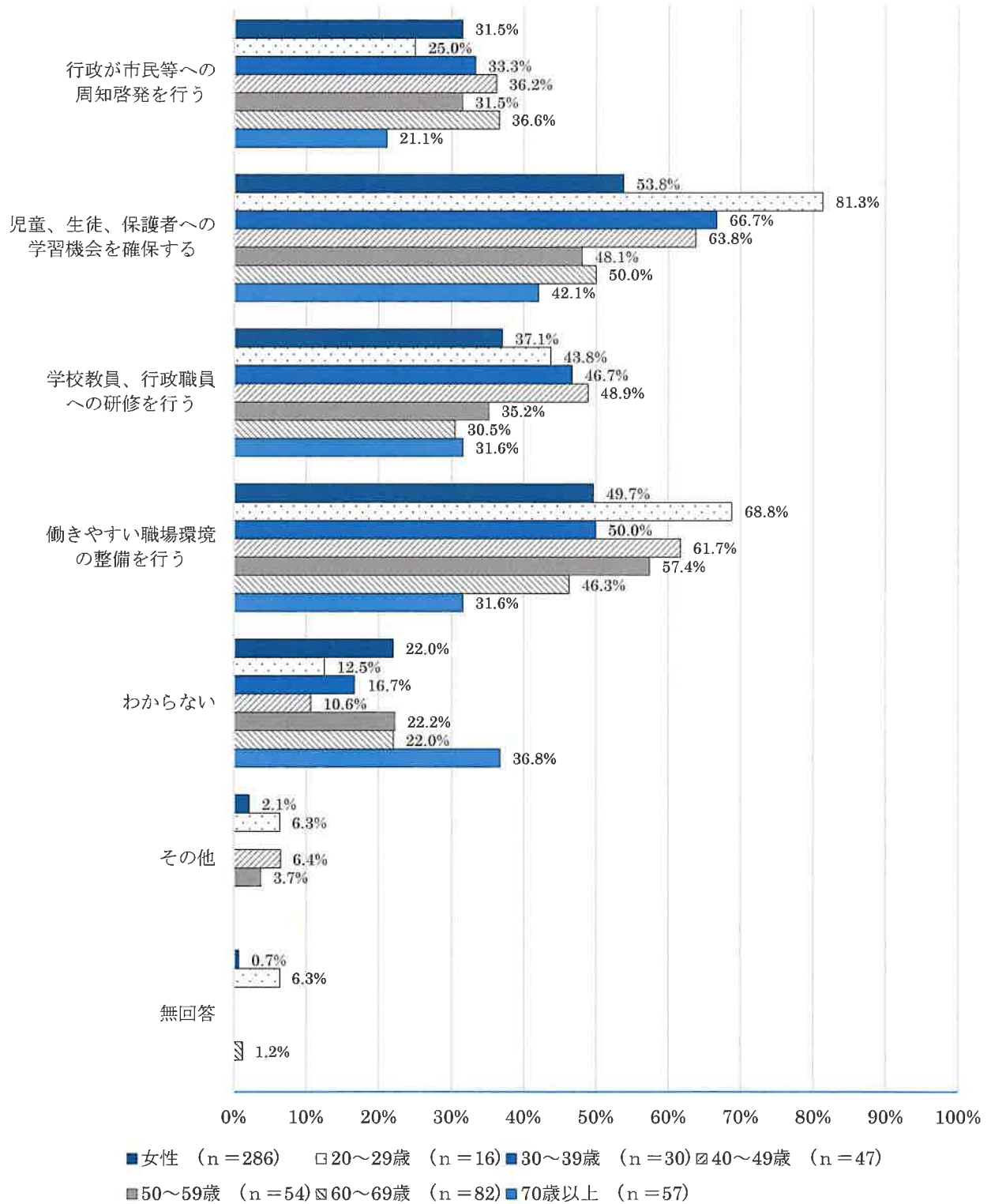
性的マイノリティ又はLGBTの方が生活しやすくなるために必要な取り組み
【総計】



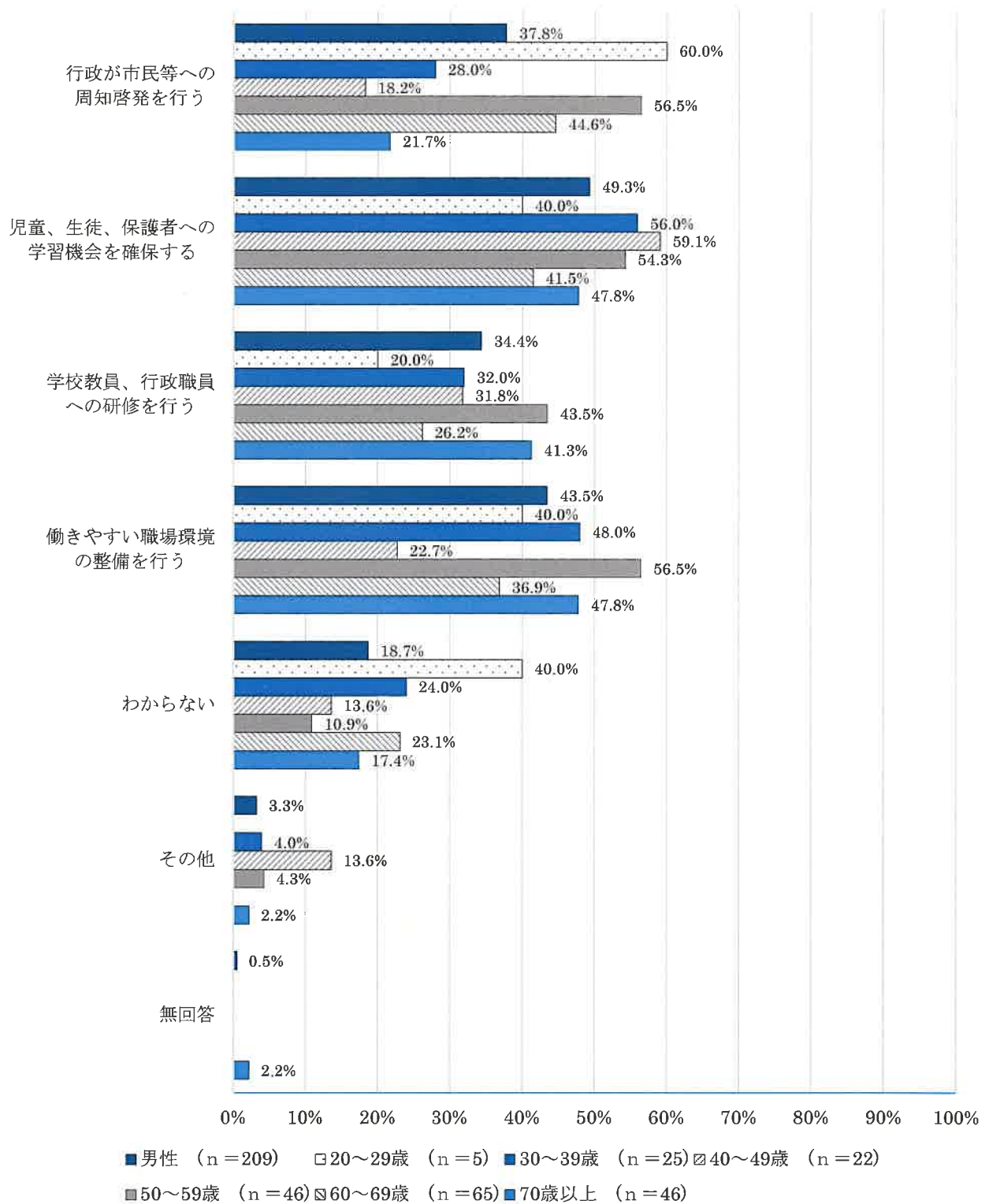
性別で見ると、「児童、生徒、保護者への学習機会を確保する」、「学校教員、行政職員への研修を行う」、「働きやすい職場環境の整備を行う」と答えた割合は、男性より女性の方が高くなっている。

性別、年代別で見ると、20歳代の女性では、「児童、生徒、保護者への学習機会を確保する」と答えた割合が81.3%と高くなっており、50歳代の男性では、「行政が市民等への周知啓発を行う」、「児童、生徒、保護者への学習機会を確保する」、「働きやすい職場環境の整備を行う」と答えた割合は、5割以上となっている。

性的マイノリティ又はLGBTの方が生活しやすくなるための取り組み
【女性、年代別】



性的マイノリティ又はLGBTの方が生活しやすくなるための取り組み
【男性、年代別】



《その他の回答》

- 一人一人の意識改革。
- 無知が、偏見につながると思う。理解が必要。

- 当事者の希望を聞く機会を増やす。
- LGBTが特殊だと思っている社会全体を変える取組。
- 家庭での教育や行政の改革が必要。
- 同性婚OKの自治体が増えること。
- みんなが気にしないこと、みんな人間。
- 世界を知る。
- 性に捉われない、柔軟な教育の場での対応、制服選択等誤った理解や偏見を持たないように理解を広める場を作る。
- 好奇の目で見ないこと、コソコソせず堂々と生きること、一緒に暮していく為の覚悟を決めること。
- 対象者の活動や考えを地域が認める事が良い。対象外者の考えは不要。
- 特別な取組は必要ない。受入れやすい社会になってきていると思うから、過度の取組は逆効果になる。
- 100年後にならないと解決しない。